



データを保管する・活用する

歴史的典籍NW事業の取組みについて

日 時:令和4(2022)年11月11日(金) 9:05～9:20
開催方法:オンラインシンポジウム(YouTube動画配信)

人間文化研究機構 国文学研究資料館

古典籍共同研究事業センター長

山本和明 (YAMAMOTO Kazuaki)



- Term: 2014-2023
- To make publically available on the internet a collection of **300,000 digitized Japanese pre-modern books** from various fields, along with their bibliographies. **226,000 books** will be released by March 2023.

In terms of number of images, **24 million**.
- To promote collaborative international research projects through the use of digitized materials.
- To build networks for collaborative international research.



OUR CURRENT NETWORK: OVER **127 ORGANIZATIONS**

UNIVERSITIES AND RESEARCH INSTITUTIONS

DOMESTIC AND **INTERNATIONAL**

Europe

College de France
Università degli Studi di Firenze
Leiden University
Università Ca' Foscari Venezia
Università degli Studi di Napoli Federico II
Sapienza – Università di Roma
Bibliotheca Apostolica Vaticana
University of Cambridge
British Library
Staatsbibliothek zu Berlin
Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg
Goethe-Universität Frankfurt am Main



Asia

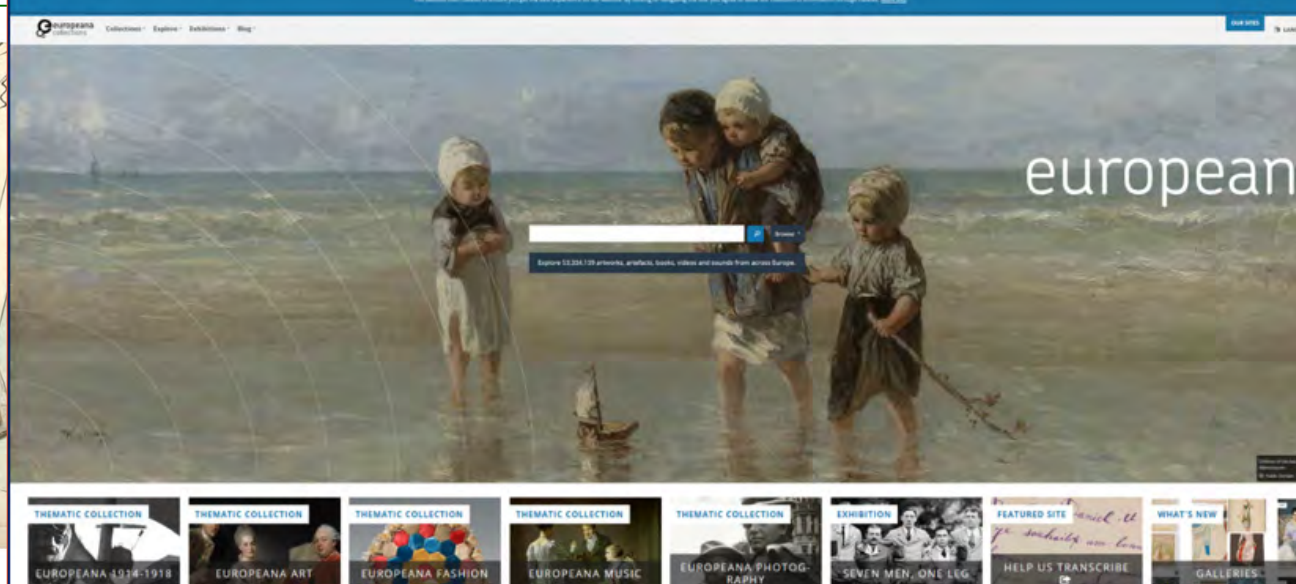
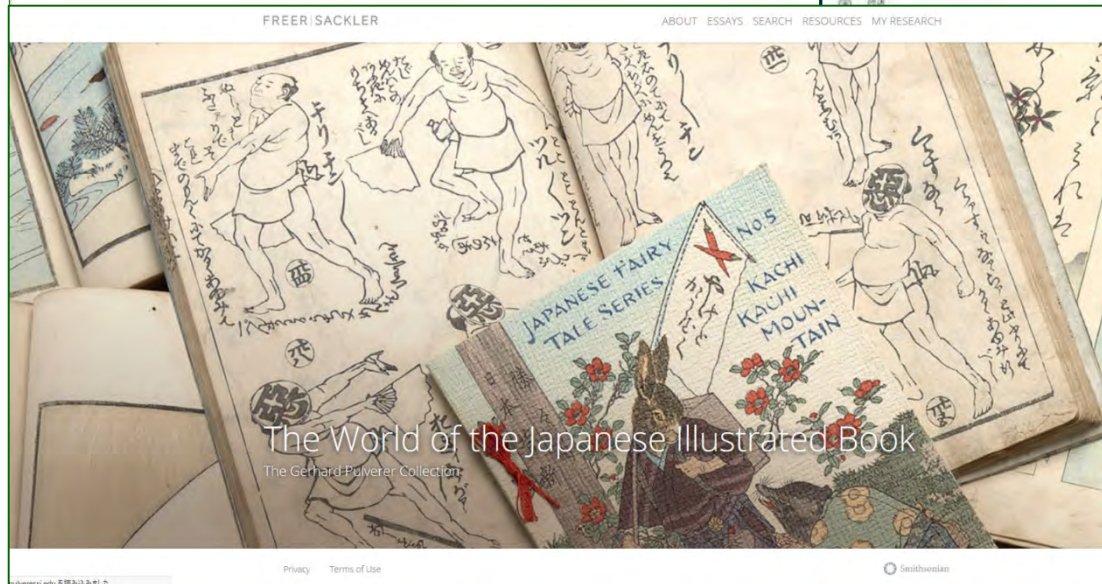
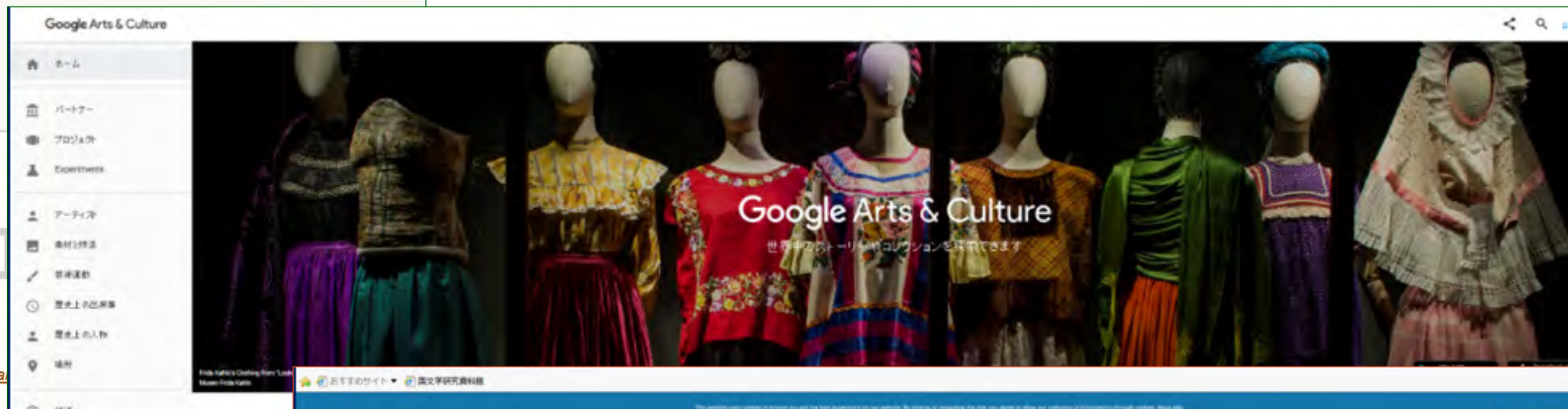
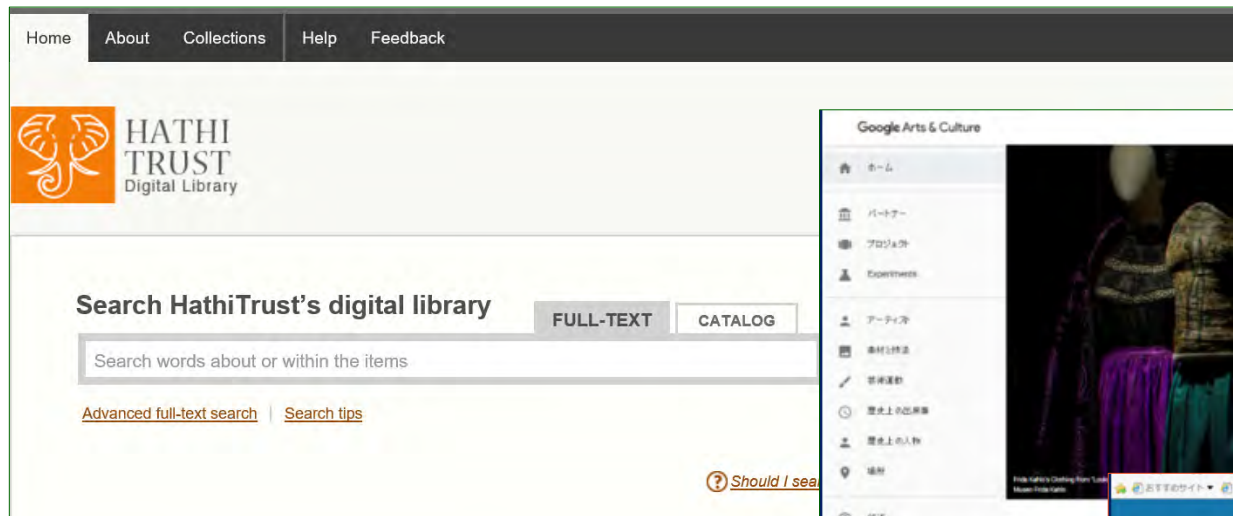
高麗大学校
北京外国語大学

North America

The University of British Columbia
Columbia University
University of California, Berkeley East Asian Library
University of Hawaii, Manoa



資料を秘蔵(=死蔵)するニッポンからの脱皮を

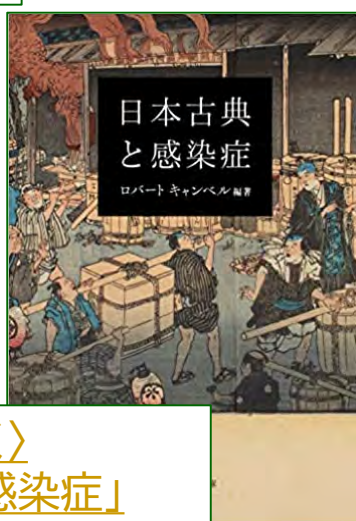




YouTube
国文学研究資料館



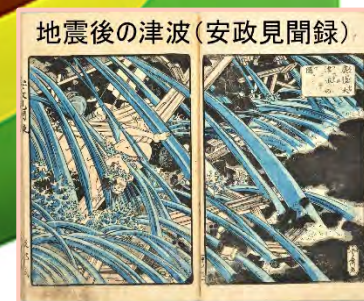
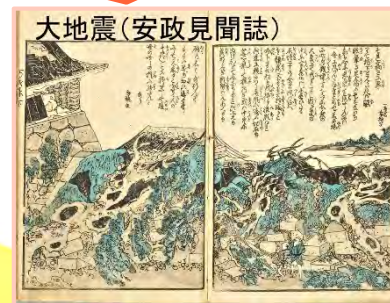
日本古典と感染症
5.4万回視聴



ブックレット〈書物をひらく〉
角川ソフィア文庫「日本古典と感染症」

直面している世界的危機にも先人の書物が有効
災害・疫病等に対する書物が現存

パンデミックに
如何に日本人は
対処してきたか
幾層にも存在





新日本古典籍総合データベース

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>

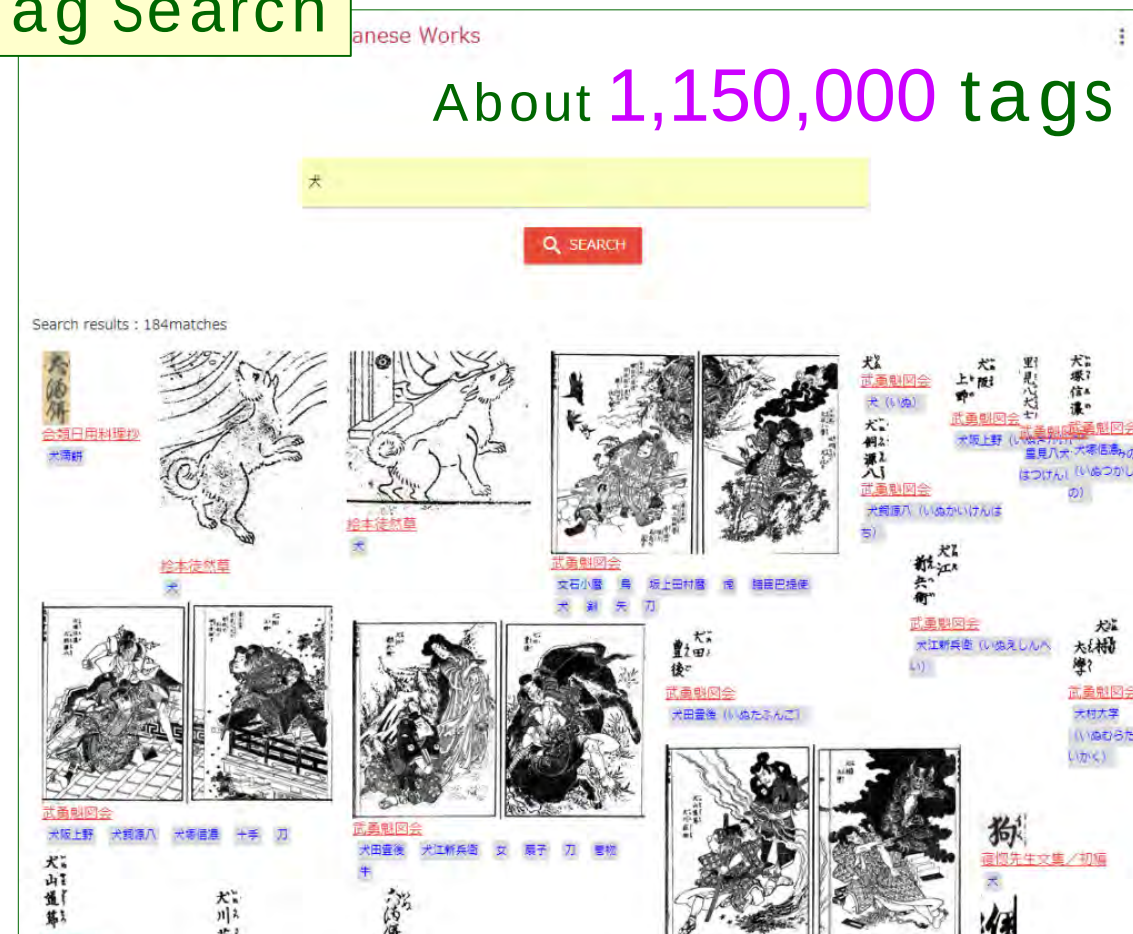
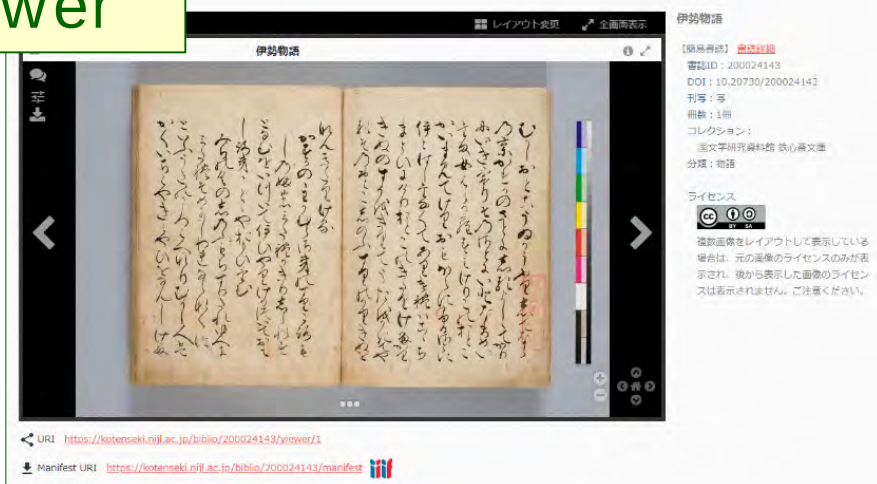
[Top Page](#)



Japanese Works

About 1,150,000 tags

Viewer





Database of Pre-modern Japanese Works

7

新日本古典籍総合データベース

源氏物語 (げんじものがたり)

源氏物語

レイアウト変更 全画面表示

4

源氏物語

【目次】

【簡易書誌】 書誌詳細

書誌ID: 100266039

DOI: 10.20730/100266039

著者: 紫式部

刊行: 刊

冊数: 53冊

コレクション:

実践女子大学・実践女子大学短期大学部

図書館 一般デジタル 黒川62

分類: 物語

ライセンス

CC BY NC

複数画像をレイアウトして表示している場合は、元の画像のライセンスのみが表示され、後から表示した画像のライセンスは表示されません。ご注意ください。

URI <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100266039/viewer/4>

Manifest URI <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100266039/manifest>





5 features of the DB

8



Creative Commons license



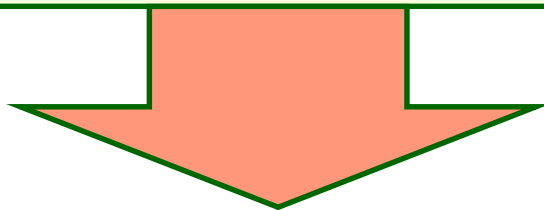
the DOI system



International
Image
Interoperability
Framework

CiNii

JapanKnowledge



Make more accessible and easier to use



①だれでも自由に 無料で・登録なしで

秘蔵・秘匿は死蔵！

OPEN DATA

自由に使ってください。

②利用手続きの明確化(論文引用・出版等々)



可能な限り自由に利用へ

クリエイティブコモンズ表示

CCライセンス…作品を公開するものが「この条件を守れば自由に使って構わない。」という意思表示をするツール。

所蔵機関への許諾申請なしに一定の条件下で自由に使える



③いつみても確認可能 リンク切れなし

<https://doi.org/所蔵機関番号/資料番号>

教育・研究利用には必須

結果の安定性

Digital Object Identifier=DOI 研究データ保有機関のみ可能



岩波文庫
「源氏物語」

④ストレスフリーなビューワ

画像共有の新標準IIIF



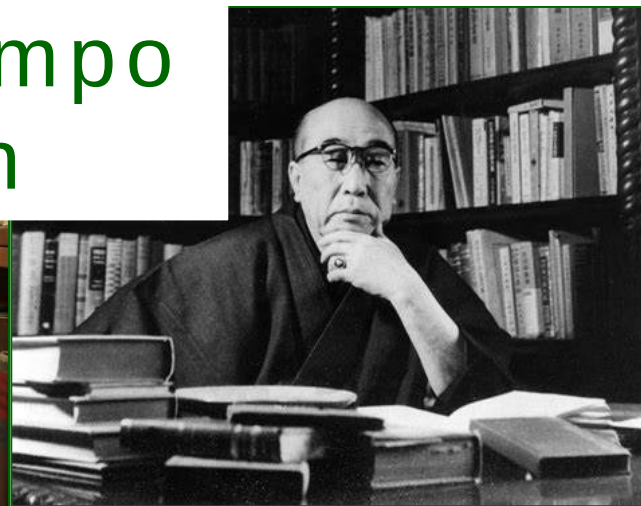
世界中のどこのデジタルアーカイブでも、**自分に適したビューワで表示可能**



Tokyo University of the Arts Edogawa Rampo Collection



永濯先生自筆
神代人物唐人仙仏集



<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-rkrp.html>

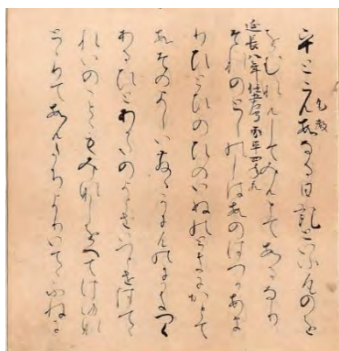
立教大学
江戸川乱歩記念
大衆文化研究センター



<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-tkgl.html>



池田亀鑑旧蔵本(東海大学桃園文庫)

大島雅太郎旧蔵
青谿書屋本土佐日記

東海大学附属図書館所蔵

◆◆ 共同プレスリリース ◆◆

令和3(2021)年7月8日

国文学研究資料館と東海大学附属図書館
データベース構築に関する覚書締結
＝桃園文庫の古典籍を国文研でデジタル化＝

概要

国文学研究資料館(以下、「国文研」)と東海大学附属図書館(以下、「東海大学」)は、日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書を6月17日(木)に締結しました。

国文研は、東海大学が所蔵する「桃園文庫(とうえんぶんこ)」(約2000点)のデジタル化を3年計画で進め、今後、「新日本古典籍総合データベース(<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>)」により順次公開していきます。



『伊勢物語』(K/桃/2/1)



『源氏物語の図』(T/桃/10/130)



『源氏物語系図』(K/桃/8/142)

「桃園文庫」とは、国文学者・池田亀鑑(明治29(1896)年～昭和31(1956)年)博士が、『源氏物語大成』を編纂する過程で購入した『源氏物語』の写本をはじめ、『伊勢物語』、『土佐日記』などの土著文学に関する様々な資料を含んだコレクションの総称です(計約8500点)。

これらは、池田亀鑑博士没後もしばらくの間、私邸において次男の池田研二らによって、生前に利用されていたほそまの状態で保存管理されていましたが、東海大学文学部長で附属図書館館長でもあった原田敏明教授が池田亀鑑博士の養の兄であった関係などからその管理を任されるようになりました。

その後、昭和48(1973)年11月に、東海大学の建学三十周年事業の一環として同大学が一括して購入することが決まり、附属図書館において「桃園文庫」としてまとめて保管されることになりました。

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館
古典籍共同研究事業センター事務局 管理係
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp
TEL: 050-5533-2988 / FAX: 042-526-8883
<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

東海大学附属図書館
E-mail: lib01@u-tokai.ac.jp
TEL 0463-58-2111 Ext.2/270
FAX 0463-50-2459
<https://library.time.u-tokai.ac.jp/>



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館



東海大学

Seikado Bunko Library(静嘉堂文庫)

◆◆ 共同プレスリリース ◆◆

令和4(2022)年7月7日

静嘉堂文庫 が新たな扉を開く！

＝静嘉堂文庫所蔵の古典籍(和書)を国文研でデジタル化・公開＝

概要

国文学研究資料館(以下、「国文研」)と公益財団法人静嘉堂 静嘉堂文庫(以下、「静嘉堂文庫」)は、日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書を6月に締結しました。

国文研は、静嘉堂文庫が所蔵する古典籍のうち、近世以前の国書でマイクロフィルム化されている資料を中心にデジタル化し、「新日本古典籍総合データベース(<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>)」により順次公開していきます。



静嘉堂文庫外観(世田谷区阿木)

静嘉堂文庫は、岩崎彌之助(1851～1908 彌太郎の弟、三菱第二社長)と岩崎小彌太(1879～1945 三菱第四代社長)の父子二代によって創設・拡充され、現在、国宝7件、重要文化財84件を含む、およそ20万冊の古典籍(漢籍12万冊・和書8万冊)と6,500件の東洋古美術品を収蔵しています。

閲覧には予約が必要です。

詳細はHPをご参照ください。

文庫の活動は、彌之助の恩師・重野安禪の国史編纂事業の援助に端を発します。彌之助は、我が国固有の典籍・文化財を守りたいという思いから、学者・蔵書家の蔵書を次々に一括購入しました。明治27年には『徒然草』『平家物語』など和書の善本を多数含んだ青木信實旧蔵書、明治40年には陸心源旧蔵の宋元版などを一括で購入しています。

小彌太も父の志を継いで文庫を拡充し、諸橋轍次を文庫長に迎え、陸心源の書肆『静嘉堂秘蔵志』50巻の上梓などのほか、蔵書目録の刊行、貴重書の複製事業などを行い、第二次大戦中も閲覧公開を継続しました。『大日本国語辞典』を著した松平治朗旧蔵書や洋学・蘭学が充実した大槻文庫など、蔵書は質量ともに豊富です。

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館
古典籍共同研究事業センター事務局 管理係
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp
TEL: 050-5533-2988 / FAX: 042-526-8883
<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

公益財団法人静嘉堂 静嘉堂文庫
閲覧対応係
E-mail: etsuran@seikado.or.jp
<https://www.seikado.or.jp/about/seikadobunko.html>

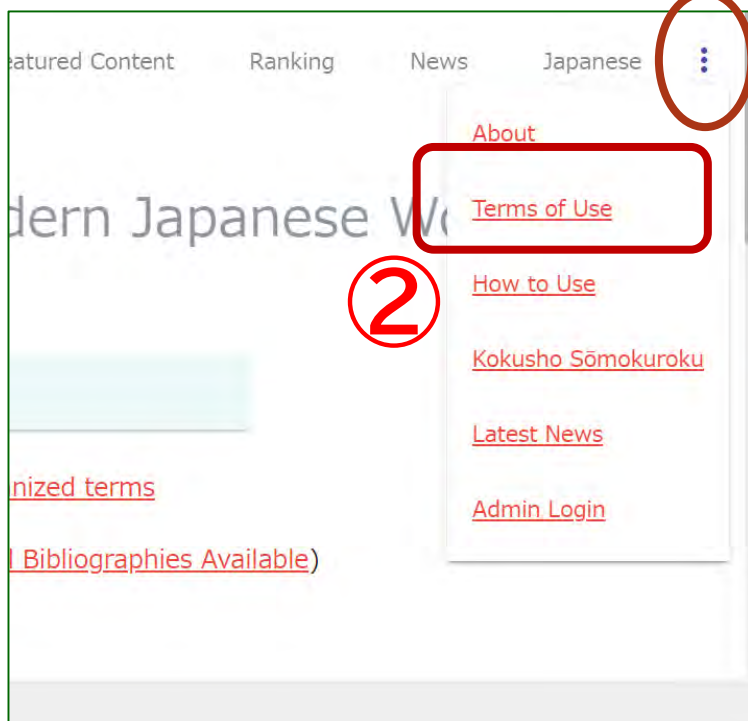


堂嘉静



<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/en/usage.html>

DB Top Page



List of Holders of the Digital Collections accessible via the Database of Pre-Modern Japanese Works (Jun 2022)

Address	Library Number	Name of Holders	Number of Works	Image Type	List of Works	Use of Images	Remarks
Hokkaido	0001	Hokkaido University Library	154	Microfilm	List	Details	Base university CC BY-SA 4.0
Hokkaido	HOKU	Hokkaido University Library	1,084	Digital/Microfilm	List	Details	Base university CC BY-SA 4.0
Hokkaido	0056	Hakodate City Central Library	528	Microfilm	List	Details	
Aomori	0096	Hachinohe City Public Library	911	Microfilm	List	Details	
Aomori	0272	Hirosaki City Public Library	2,462	Microfilm	List	Details	
Aomori	HRSL	Hirosaki City Public Library	333	Digital	List	Details	
Aomori	HRSH	Hirosaki City Museum	13	Digital	List	Details	
Aomori	TAHM	Takaoka no mori Historical Museum of Hirosaki clan	31	Digital	List	Details	
Aomori	AOPM	Aomori Prefectural Museum	10	Digital	List	Details	
Aomori	0067	Toogijuku high school	23	Microfilm	List		CC BY-NC-ND 4.0
Iwate	0281	Morioka History and Culture Museum	2,669	Microfilm	List	Details	
Iwate	0336	Iwate Prefectural Library	225	Microfilm	List	Details	
Miyagi	THKW	Tohoku University Library, Wasan Collection	8,364	Microfilm	List	Details	Base university
Miyagi	THKL	Tohoku University Library	1,402	Digital	List	Details	Base university
Miyagi	THKL	Tohoku University Library, Kano Bunko	297	Digital	List	Details	Base university
Miyagi	THKK	Tohoku University Library, Kano Bunko	7,138	Microfilm	List	Details	Base university
Miyagi	THKL	Tohoku University Medical Library	68	Digital	List	Details	Base university
Miyagi	MGKT	Miyagi Prefectural Library(Date Bunko)	5	Digital	List	Details	CC BY-ND 4.0

List of Holders of the Digital Collections accessible via the Database of Pre-Modern Japanese Works



<http://codh.rois.ac.jp/>

Data sets readily downloadable
for easy viewing

Pre-Modern Japanese Text
Kuzushiji Dataset
KMNIST Dataset
Edo Cooking Recipes
Bukan Complete Collection

Edo Maps Beta
Edo Shopping Guide
Edo Sightseeing Guide
Collection of Facial
Expressions

データセット一覧



日本古典籍データセット

歴史的典拠NW事業においてデジタル化された古典籍のうち、主に国文研蔵本を対象に、画像データと書誌データをセットで公開しています。さらに一部の古典籍には作品紹介や翻刻テキストデータ、タグ情報なども付与しています。



江戸料理レシピデータセット

日本古典籍データセットに含まれる江戸の料理本を対象に、江戸の料理文化に関するデータとして、翻刻・現代語訳・レシピ化という作業を加えたレシピデータを提供します。



日本古典籍くずし字データセット

日本古典籍データセットで公開するデジタル化された古典籍を対象に、翻刻テキストの制作過程で生まれるくずし字の切り出された字形と座標情報などを、機械や人間を賢くするための学習データとして提供します。



KMNISTデータセット

日本古典籍くずし字データセットを元に、機械学習研究で著名なMNISTデータセット互換のくずし字データセットKMNISTを作成しました。目的に応じて、Kuzushiji-MNIST、Kuzushiji-49、Kuzushiji-Kanjiの3種類のデータセットをご利用下さい。



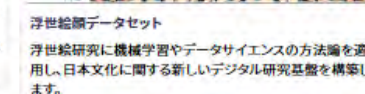
顔貌コレクション(顔コレ)

日本の絵巻物を中心として古今東西の美術作品から顔貌を切り取って収集し、顔の描き方を比較検討する、美術史研究(特に様式研究)のための研究基盤を構築するプロジェクトです。



江戸マップβ版

江戸マップβ版は、国立国会図書館が公開する古地図「江戸切絵図」29枚から8719ヶ所の地名を抽出して地名データベース化するとともに、現代の地図や情報とも統合することで、歴史ビッグデータや歴史GISの研究や江戸都市空間の地理情報基盤の構築に活用します。



浮世絵顔データセット

浮世絵研究に機械学習やデータサイエンスの方法論を適用し、日本文化に関する新しいデジタル研究基盤を構築します。



江戸マップβ版

江戸マップβ版は、国立国会図書館が公開する古地図「江戸切絵図」29枚から8719ヶ所の地名を抽出して地名データベース化するとともに、現代の地図や情報とも統合することで、歴史ビッグデータや歴史GISの研究や江戸都市空間の地理情報基盤の構築に活用します。



江戸買物案内

江戸買物案内は、江戸時代に出版された「江戸買物案内」から、IIIF Curation Platformを活用して広告版面を切り抜くとともに、商人名や職種、居所(住所)、屋号数などを抽出することで、江戸を中心とする商人に関するビジュアルな商業広告データベースとして構築したものです。さら



Anyone can use it
freely

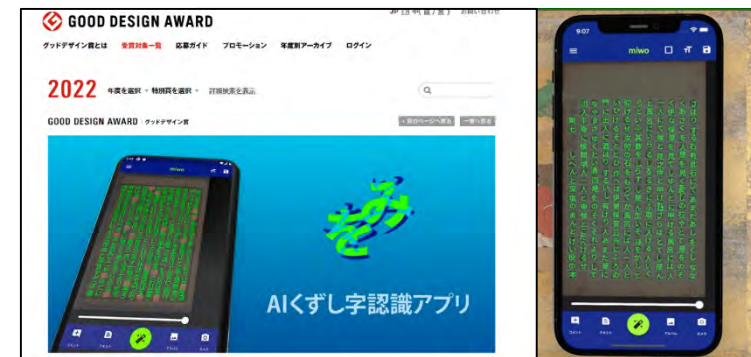


DAPCON
2020デジタルアーカイブ産業賞



a set of machine learning data ***KMNIST***

Mobile Application *MIWO*



産業化:凸版印刷、くずし字解読
支援システム「ふみのはずみ」





一例:日本最古の天文記録として知られる『日本書紀』推古28年(620年)のくだりに記された「赤気」について、近年の古典籍を用いたオーロラ研究で解明されてきた「扇形オーロラ」と整合的であることを解明

「形似雉尾」という表現に着目し、緯度の低い地域で見られる扇形のオーロラを目撃した当時の日本人は、雉の扇形の尾羽でオーロラを例えたのだらうという解釈を新たに提唱



一例:藤原定家『明月記』の記述から、鎌倉時代における連発巨大磁気嵐の発生パターンを解明、アメリカ地球物理学連合「Space Weather」に掲載、新聞各紙にも取り上げられた。



明和7(1770)年、福井方面に見えたオーロラ(東北大学所蔵『星解』)

宇宙災害への関心を喚起:最悪の磁気嵐を予測する上で重要な情報

social media



現代に復元することで新たな価値を再認識する

古代甘味料の復元

古代に砂糖の代わりに使用されていたが中世以降に生産が途絶え、現在は幻の調味料となっている甘味料「甘葛煎」(あまづらせん)について、複数のブドウ科植物から、甘葛煎様の甘味料をつくることに成功



『甘葛考』(写本)に収蔵されているブドウ科の1種国立国会図書館蔵



江戸料理の復元
レシピの公開
老舗料理店とのコラボ





<異分野融合研究等の醸成>

DNA書物学

書物から
先人の生活を探る



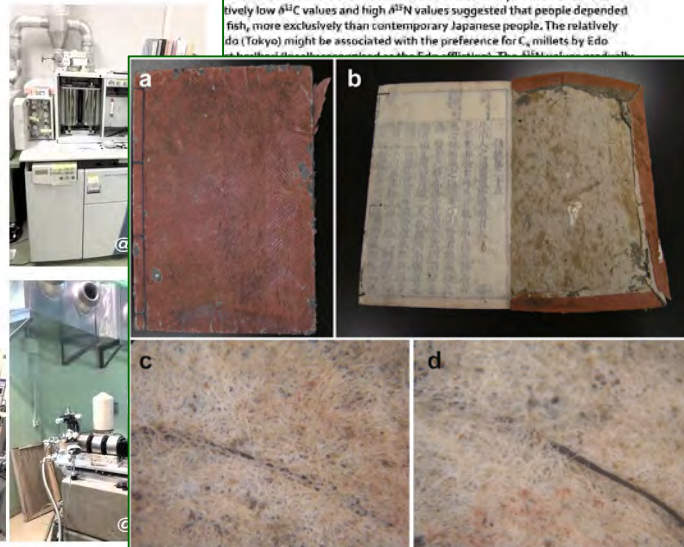
■髪から分かる食生活・食環境

▶同位体分析

原子に磁場をかけたときに曲がり具合から炭素や窒素の同位体の比率を測定する技術
→→ 何を食べているかを推定できる

▶PIXE分析

陽子をぶつけたあとで励起X線を測ることで非破壊的に数十種類の金属の含有量を調べる技術
→→ 毛髪の持ち主の食環境を推定できる



文字の形から先人たちの情報伝播ルートを探る 1300年の文字を検索(他機関と共同で公開)



<https://mojiportal.nabunken.go.jp/>



<https://www.nature.com/articles/s41598-018-30617-0>



<総合書物学の推進・構築>

○機構内連携共同研究の研究成果として、
総研大文化科学研究科共通科目「総合書物論」を開講

異分野融合による「総合書物学」の構築

総合書物論

テキストはこちらから↑

歴史 国語研 日文研

古代の百科全書『萬葉式』の多分野協働研究 異記情報と書影形態情報を加えた日本国史コーパスの構築化 文化・価値の継承点としての図像

お知らせ

- 12/04 【書物論】第5回のテキストを公開しました。
- 11/5 【書物論】第6回、第7回、第8回のテキストを公開しました。
- 11/4 【書物論】第9回のテキストを公開しました。
- 10/29 【書物論】第10回のテキストを公開しました。
- 10/26 【書物論】第11回のテキストを公開しました。
- 10/15 【書物論】第12回のテキストを公開しました。
- 10/12 【書物論】第13回のテキストを公開しました。

総合書物学

概要 国文研 歴史 国語研 日文研

トップ > 総合書物論 >

総研大文化科学研究科共通科目「総合書物論」

書物には、その本が著述されたそもそもの目的やその本が属するジャンルを越えた、さまざまな人間の営みや生活がたたみ込まれている。たとえば日本文学のジャンルに属する『万葉集』は和歌集であるが、収められた歌には200近くの植物が詠まれていて、そこにはどのような植物なのか同定が困難なものが数多く含まれていて、現在も科学史家たちによる研究が続けられている。文学作品や絵画に描かれた住まいについても同様で、住居の構造を記録しておくことが作品の目的でないばかりで、そこからある時代の人びとが生活した家屋がどのようなものであったかを読み取ることができる。

書物や記録がもつこうした後世へ情報を伝えるはたらきを柳田国男は「計画記録」と「偶然記録」という呼び方で区別し、「文字を筆者の計画した以外の問題を明らかにするため援用する」「偶然記録」の利用を推奨している（『郷土研究と文書史料』、『郷土生活の研究法』1935年）。たとえば『東海道中膝栗毛』を用いて「馬方の道義観念」という問題を明らかにすることを柳田が例としてあげているように、あらゆるテキストや図像には「偶然記録」が含まれている。それは、科学史や建築史といったすでにある研究分野にとっての「偶然記録」であるばかりでなく、まだ出現していない分野の「偶然記録」でもある。

総合書物論では、日本に伝えられてきた新しい書物を対象として、それらを「偶然記録」として活用し人文学をより豊かなものにしていくための多分野の協働を通したさまざまなアプローチを探究する。柳田も述べているように、ある時代に当たり前にあったことをその時代に属する（と）はとけわげで書き残した。たれ、たれ、偶然記録！を手にかりに！

<文献観光資源学等の推進>



○葛飾北斎の伝奇小説の挿絵をベースに、新たな見送り絵を創出しようというコンセプトのもと、ねぶた絵師・川村岩山氏が色紙に新たに描き下ろした30点を展示した「ねぶた見送り絵リポート！ ～デジタルアーカイブからよみがえる北斎の女たち～」を開催。研究成果の集大成として、共同研究成果HPと報告書『津軽デジタル 風土記資料集』を刊行





< 英文研究誌の発刊(オンライン) >

国際共同研究を推進し、研究成果を英文オンライン・ジャーナル(SJLC)として刊行

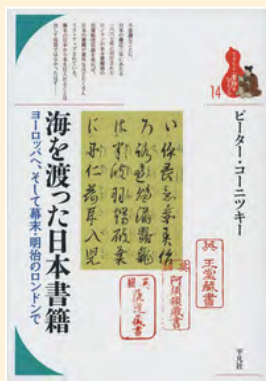
- 第1号 平成30年7月発行
- 第2号 平成31年3月発行
- 第3号 令和2年3月発行
- 第4号 令和3年3月発行
- 第5号 令和4年3月発行

OSJLCサイト閲覧数(～R4.9まで)
15,400件

○論文DL数(H30.7～R4.3)

- ・一括DL1067件、
うちR3年度のみ228件
- ・論文個別DL 20,105件、
うちR3年度のみ 8,064件

< 一般向けにブックレット等で研究成果を公開 >



< 動画配信による研究成果の発信等 >



日本古典と感染症
5.4万回視聴



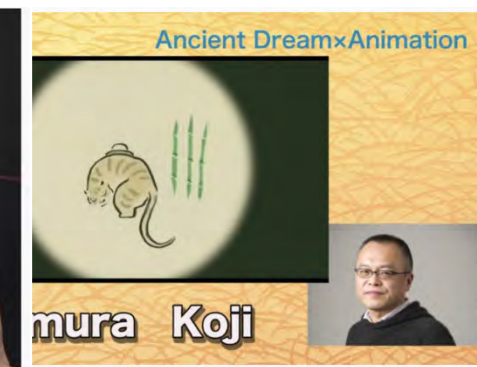
Imaginary Islands: A 19th-Century Japanese Children's Book



Imaginary Islands: A 19th-Century Japanese Children's Book



#RobertCampbell #NIJL #NationalInstituteofJapaneseLiterature
Japanese Classics in a Time of Contagion



of participating in NIJL Arts Initiatives? from Mr.Koji



フロンティア事業とは 10年20年先を見据える事業

「リスク社会の克服と知的社会の成熟に向けた人文学及び社会科学の振興について（報告）」
2012年7月25日科学技術・学術審議会学術分科会

■先導的な共同研究の推進(課題設定による先導的人文学・社会科学研究の推進)
人文学・社会科学が参画する共同研究には、大別して

- ①諸学の密接な連携によってブレイクスルーを目指して研究方法の革新を目指す「領域開拓」
 - ②現実の人間社会における様々な問題に係る解決案の創出を目指す「実社会対応」
 - ③国際的な研究の場に参画し、リードしていく「グローバル展開」
- の三つの目的がある。

【課題】 理系の場合、社会との連携は当たり前！ 人文系は？
論文発表に対する意識の相違（オンライン／紙媒体）



◇「統合イノベーション戦略2020」（令和2年7月17日閣議決定）

人文・社会科学の振興について、人文・社会科学が、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症、地球環境問題、人口減少・超高齢化、グローバル化に伴う社会経済の不安定化等の課題や、科学技術の社会実装に向けた倫理的・法制度的・社会的課題の解決に向けて貢献していくため、研究者の内在的な課題意識に基づく研究活動を支援するとともに、人文・社会科学の知見を活用して社会の具体的課題を解決するための取組を推進する。

◇「コロナ新時代に向けた今後の学術研究及び情報科学技術の振興方策について（提言）」

（令和2年9月30日科学技術・学術審議会学術分科会・情報委員会）

総合的・計画的な人文学・社会科学の振興により、新たな価値の提示や社会課題の解決等においてそれらの知見を活用

◇内閣府「第6期科学技術・イノベーション基本計画について」

<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html>

○「人文・社会科学の振興と総合知の創出」の項参照

○新たな技術を社会で活用するにあたり生じる制度面や倫理面、社会における受容などの課題に対応するため、人文・社会科学も含めた「総合知」を活用できる仕組みを構築する。



ご視聴ありがとうございました
私の報告は以上です